

シンポジウム「行政情報システムでの社会会計測定の多元的構成と行政サービス利用」
の開催について

平成19年5月24日
内閣府経済社会総合研究所

内閣府経済社会総合研究所は、5月29日(火曜日)13:00-17:00東京工業大学エージェントベース社会システム科学研究センターと共催でシンポジウム「行政情報システムでの社会会計測定の多元的構成と行政サービス利用」を開催します。

参加を希望される方は、5月25日(金)までに、(1)お名前、(2)ご所属、(3)メールアドレスを主催者 info@absss.titech.ac.jp までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

内容は http://www.absss.titech.ac.jp/event/project_0.html#092 にも掲載されております。

内容は

- ① 黒田昌裕所長の基調講演
- ② 平成18年度実施「電子化に対応した経済社会統計のあり方の調査研究」の調査成果の紹介と、それに基づくパネル・ディスカッション
- ③ 公会計における発生主義会計に関する先進事例としての東京都及び浦安市の取り組みの紹介と、NPM研究者を含めたディスカッション。
- ④ 「社会会計システム・オープン・コンソーシアム」の発足式です。詳細は下記をご参照ください。

記

主催 エージェントベース社会システム科学研究センター（東京工業大学）
共催 内閣府経済社会総合研究所
会場: キャンパスイノベーションセンター2F多目的室4 (JR田町駅芝浦口徒歩2分)
期日: 5月29日(火)

プログラム

13:00～13:30 公共財としての経済統計の必要性と産官学情報共有のあり方
内閣府経済社会総合研究所黒田所長基調講演

13:30～14:50 自治体情報システムに於ける会計 測定の多元的構成と行政サービス
司会: 出口弘(東京工業大学大学院教授)

パネル: 榊俊吾(東京工科大学准教授)

松井啓之(京都大学准教授)

高島史郎(元 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民支出課)

中山耕史(山梨県身延町役場行政改革室主査)

14:50～15:00 休憩

15:00～16:20 公会計の発生主義会計への移行

コーディネーター兼パネル: 大住莊四郎(関東学院大学教授)

パネル: 神山智行(東京都会計管理局管理部会計制度改革担当課長)

川口明浩(浦安市財政専門委員)

16:20～17:00 社会会計システムのオープン・コンソーシアムについて